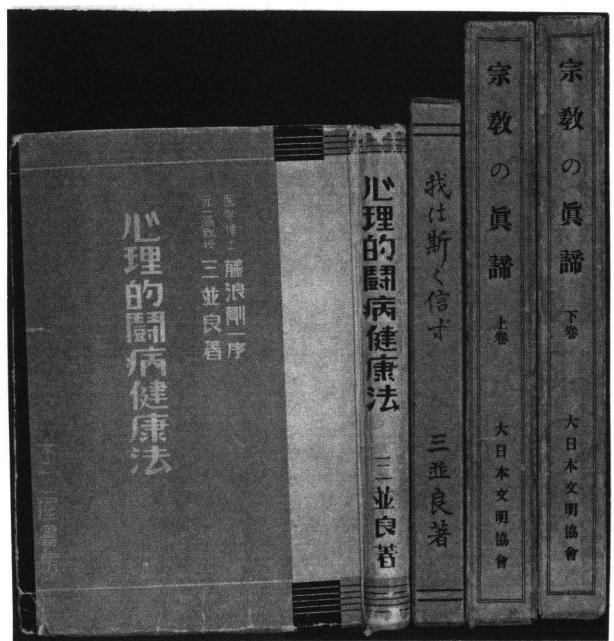


（））正良 梅原の宗教學者、牧師。慶應二年十月、江戸在郷國松山生れ、明治十五年十月、二十歳で父（ハセキ一九四〇）。舊姓歌原。筆名榮蔵牧師。
歌原松友、歌原良、藤々山人、H. Minami。正岡子規の孫也。從兄。明治十九年上京、獨逸傳教會學校入學。二十一年新教神學學校卒、普皮神音教會牧師となる。二十二年陸軍中央幼年學校教授に任じ、傍ら獨逸傳教會、慶應義塾講師。三十一年第一高等學校教授、三十四年ナントリアン協會に加盟し、回教會統一教會牧師を兼務。同年バルツの位由キリスト教國際大會に内ケ蘭作二輪と共に日本代表として出席。その後鄭州松山の地等靈教會牧師として終る。ディッキン生徒教授が就任（のち教頭）。大正十一年出版中脳腫瘍と御れ、爾後鬱病生活。昭和十一年個人雜誌『信仰の眞理』を創立し、この間の大正初年、先年ノーベル賞を受賞、著述、紹介が勢い、日本に於けるオイケンは流行の一翼を擔つた。

著書（）、「獨逸」（獨逸廿二年十一月）、「江戸深江堂書畫房」、
「オイケン著『現代宗教哲學』の主要問題」（加藤直士共舞、大正二年十一月廿五日）、
「獨逸社書店」、同書宗教（）、「道徳」全二冊（上巻・大正二年十一月廿五日、一編・



書））、同著『人生の藝術（總論）』（大正二年ナウチニアトハス）等。
著書に『ハーデルナ・オイケンの藝術』（大正二年セウ）（ナウチアトハ
社書）、「近代藝術叢書」（）、『眞人集稿』（大正二年ナウチアトハ
合編叢書）、「六合集稿」（）、『オイケンと時代思想』（大正五年十一月
八日開幕大學會「開幕大學文庫」）、『我の藝術（序）』（大正七年六
月五日流）（講書出版部）、『自由の藝術』（大正十年六月五日）右文
館）、『心理的藝術（總論）』（昭和十一年六月二十日）（講書出版部）等。